2026.9.25

第108号

# あいこでしょ



## 本物と偽物

必要に迫られて、いぶりたすけ愛のホームページを作ることになりました。協力して下さる方があり、あれこれと検討を重ね、時間をかけて出来上がりました。そして、インターネットを検索して大変驚きました。身に覚えのない当会のホームページがあり、そこには、理事長挨拶までありました。本物には理事長挨拶はありません。警察に相談し、警告を載せてもらいましたが、作ったのはアメリカのアリゾナ州の会社で、削除をすることができないとのことです。偽警官等の詐欺もある時代です。なぜ当会を狙ったのかは分かりませんが、詐欺の可能性があります。

３０年前の発会当初から、パソコンを事務処理に使い、携帯電話も早くから取り入れて活動に生かしてきました。先駆的な事業に、先進的な技術を取り入れてきたつもりでした。しかし、いつの間にか、IT に乗り遅れ、SNS・AI とはできるだけ関わらない生活を送っています。SNS には偽の情報があり、AI の回答にも間違いがあるらしい。情報があふれる社会で、本物か偽物か判断するのは難しいことです。

俳句会の先輩が「茄子の花と親の意見に間違いはない。」という言葉を教えてくれました。「親の意見と茄子の花は千に一つも仇（あだ）はない」親が子を思って言う意見や小言には一つも無駄や間違いがなく、すべて子どものためになる、ということわざです。茄子の花は咲いた花がほぼすべて実になるそうです。その場では煩わしく感じても、後からありがたみが分かるという意味合いがあるようです。

サロン書道教室の先生、志賀征夫さんが、海軍飛行予科練習生に志願し１８歳で亡くなったお兄さんの日記をまとめました。夢や希望を持つ若者の言葉に胸が熱くなります。平和の大切さを痛感し、子に伝えていかなければならないと強く思いました。嫌がられても、うるさがられても、いつか思い出してくれることを願って、本物の言葉で次の世代に伝えていきたい、平和の大切さを！（星川光子）

*偽ホームページは削除されたようです。いぶりたすけ愛の正式なホームページは　iburitasukeai.or.jp で検索してください。

*志賀征夫さんの本「幸正日記」はサロンの本箱にあります。

**編集・発行**

特定非営利活動法人

**いぶりたすけ愛**

住所：登別市桜木町３丁目 2-10

TEL（0143）88-2626

FAX（0143）81-2345

## ◇いぶりたすけ愛第 32 期総会



ＮＰＯ法人いぶりたすけ愛の第 32 期総会が５月 19 日、ともかなで開かれました。

理事、運営委員関係者 12 人が出席。星川理事長が「32 年、早いものです。これからどうなるか、心配は多々ありますが、助け合いの気持ちを忘れずに努めていきましょう」とあいさつ。

議事では、31 期の活動、決算、監査報告を満場一致で了承し、任期満了に伴う役員改選では、理事７人を再任、１人を新任、監事２人を再任しました。（後藤英友）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 理事長 | 星川　光子 | 理事 | 高井　暁子 |
| 理事 | 大野　聖子 | 理事 | 山形　幸子 |
| 理事 | 角井　かおる | 理事 | 山木　恵子 |
| 理事 | 河上　良枝 | 監事 | 今　順子 |
| 理事 | 後藤　英友 | 監事 | 本多　輝夫 |

## ◇理事就任あいさつ

この度、理事を引き受けることになりました。思い起こすと、いぶりたすけ愛とのお付き合いは、彼これ 30 年余りになります。古い民家の一室に熱い思いをもって集まっていた星川さん達が居たのを忘れられません。

「ともかな」の立ち上げに係わらせて頂きました。良き集いの場になるように、何度も打合せ時間を持ち激論を重ねました。「ともかな」という名称も「ともに夢をかなえる」という意味を込めて決めたように記憶しています。

私事ですが、独居の母が介護状態になり、配食サービスでお世話になり食器に盛られた食事を、母は、心温まる配慮だと、大変喜んでいました。又、施設入所の折には家の片付けも助けていただき大変助かりました。

私自身も、サロンで行われていた太極拳に参加してリフレッシュできたことを思い出しました。

今年 ４ 月から通院介助ボランティアを始めました。何人かの方々とご一緒し、通院中不安なく過ごせるように同行しています。色々なお話を聞かせていただき、待ち時間がコミュニュケーションの場となっています。

住み慣れた我が家で暮らしていくには、助けられることも・たすける事も、共におあいこ（お相子）のたすけ愛の心を持つことが大切だと考えています。

微力ながらもたすけ愛の精神を基に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。（山木恵子）

## ◇ミノの津軽

矢崎佑二の母ミノは、息子たちが大きくなるのを待っていたかのように、五十代終わりで色丹島の暮らしを捨て突然家出した。時を経ずして１７歳の佑二も母を追って島を出て、生涯二度と故郷へ帰ることは無かった。出奔したミノの行き先が室蘭だった訳には家族の知らない過去がある。後に詳しく触れたい。

先ずは津軽での初婚に遡る。明治後期の五所川原、ミノは数え年１７歳で下古川（しもこかわ）から隣村へ嫁いだ。地域の良家であったというが、姑の躾が厳しく、行儀作法で小さなミスも許されなかった。例えば、三つ指ついておじぎをする時にミノはどうしても尻が上がってしまい、くじら尺でピシリと叩かれた。人権など言葉さえ無いに等しい時代の嫁の身である。（くじら尺とは尺寸単位の物指しで１メートルほどの竹製、どこの家庭でも裁縫に必需品だった。）

間も無くミノに男の子が生まれたが、数え年５歳の可愛い盛りに川遊びから帰宅して直後に急死してしまった。夏の昼下がり婚家の広間でろうそくの灯が消えていくように息を引き取った我が子、その面影は終生ミノの脳裏を離れなかった。これが津軽を出奔する直接の原因となり、逃避行は青森から津軽海峡を越えて北海道へ、波間を漂うような一人旅であった。こうしてミノは初婚に破れたが、後に根室で佑二の父親となる男に出会うまでには、まだ１０年の歳月を待たなければならない。人生の深みに流れる伏流水は、誰にもその行き先を知ることはできない。

色丹島の家から６歳の佑二が母ミノに伴われて津軽を訪れたのは後年のことである。二度目は家出した母を探して１７歳の旅，そして昭和１４年に祖父（ミノの父親）の葬儀に母の代理として参列した時、佑二は計３回津軽を訪ねている。ミノの生家は、五所川原の町を抜けてお岩木山を前方に見ながら岩木川にかかる橋を渡り、下古川に拡がるりんご畑のほとりにある。畑へ入る小道を挟んで右隣は神社の境内で、狛犬ならぬ歳月に洗われた一対のお狐様が村の社を守っている。佑二初回の旅は、ミノが「小学校へ入学したら長旅もできなくなるので」と言って、初めての里帰りであった。ミノが生涯ただ一度だけ経済的に恵まれていた色丹島時代のことで、幼い佑二も初めて島を出て、母の実家に逗留して従兄らにも会い、隣村の金木（かなぎ）にミノの友人宅を訪ねて一泊などして、ふるさと津軽が心に残る楽しい初旅だった。(E.K)



## ●熊本地震の支援金を送ります

７月 28 日に起きた熊本地震では多くの被害がありました。いぶりたすけ愛より 10 万円と募金箱のお金を「くまもと女性防災リーダーRIN」に送ります。RIN は 2016 年の熊本地震から生まれた団体。避難所や在宅避難者の家々を回りながら、女性や子ども、声を上げにくい立場の方々に寄りそう支援活動を続けています。

## ◇『ライバル列伝～その１～』




日本ハムファイターズとソフトバンクホークスとのペナントレースでの試合は、ファイターズの５勝 18 敗２分でしたね～道民としてはストレスの溜まる不甲斐ない結果でした。

もう叶わないけれど、張本勲さんから大きな声で『喝!!』でも入れてもらいたいところです。昭和の世代である私は、プロの試合にはプライドをかけた意地がぶつかり合う戦いを期待してしまいます。

ブラウン管にかじりつくように見たライバルと呼ばれた人たちのドラマチックなプロスポーツの凄い戦いが懐かしくなります。

1959 年６月 25 日プロ野球初の天覧試合巨人阪神戦で、７回王のホームラン後にリリーフ登板したルーキー村山実投手(この年 18 勝)は、４対４の９回裏に入団２年目の長嶋茂雄選手から昭和天皇の目前でサヨナラホームランを打たれました。ここから、天才長嶋茂雄と剛腕村山実のライバル伝説が始まります。

ライバル心を燃やし続けた村山投手は、「節目の記録は長嶋から三振を奪って達成する。」と公言し、真っ向勝負で通算 1500 奪三振と 2000 奪三振を長嶋選手から奪い、有言実行を果たします。

このライバル伝説は、ここで終わらず、奪三振王の江夏豊投手と世界のホームラン王の王貞治選手に引き継がれます。

８年後に 18 歳で入団してきた江夏投手(高校時代は豪速球のみの投手)に村山投手は「お前の相手は王貞治」と指摘します。ここから「王対江夏」の凄いドラマも始まります。

江夏投手の高卒 2 年目、年間奪三振日本記録の達成が迫る巨人戦で「新記録となる三振は王貞治選手から取る」と公言し、353 個目の三振を奪います。実はこの数字はタイ記録で、本人は新記録だと勘違いしていました。この事実を知った江夏投手は次の王選手との対戦までの８人のバッターから敢えて三振を奪わず打たせてアウトにする１安打７凡打のピッチングという離れ業を演じ、見事に新記録となる 354 個目の三振(空振り)も王選手から記録しています。この年、現在でも日本記録である年間奪三振 401 個を達成しています。

常に豪速球で真っ向勝負の江夏に対して、常にフルスイングで立ち向かう王の一騎打ちです。江夏投手にとって最も多くホームランを打たれたのは王選手であり、王選手にとって最も多く三振を奪われたのは江夏投手です。

当時の少年にとってワクワクドキドキのライバル列伝です。こんな物語を今の少年たちにも見てもらいたいな～頑張れファイターズ!!　（丸山一孝）

## ●空き室情報

ともかなレストランの２階が空き室になりました。
入居希望の方は電話 0143-88-2626 まで

**部屋**：2LDK　エアコン完備
**家賃**：月額　40,000 円（駐車場込み）
＊駐車場なしの場合 38,000 円

## ◇お知らせ

**●体操教室始めます！**

リハビリ専門職の方が、体操の指導・講話・体力測定・レクレーション等を教えてくれます。（10月 14 日・11 月１１日・12 月９日）無理のない楽しい体操を続けたいですね。ご参加ください。

**●賛助金のお願い**

福祉有償運送の車両購入のための賛助金をお願いいたします。

むろらん信用金庫　富士町支店　普通　5463008

名義　トクヒ）イブリタスケアイサンジョキン

**●不要な本がありましたらご寄付ください**

雑誌・図鑑・写真集・文庫本・CD・DVD・レコードなど。活動資金になります。

**●年末年始のお休み**（少し早いのですが・・・）

事務所は 12 月 28 日（月）が仕事納め。１月４日（月）が仕事始めとなります。チケットの購入はお早めにお願いいたします。

☆福祉有償運送は通常通りです。（日曜のみお休み）

☆配食は、12 月 31 日・１月１日はお休みします。

☆ともかなは 12 月 21 日～1 月 12 日までお休みします。



**●運転手募集**

病院受診、お買い物などの外出支援の車(軽自動車)の**運転手さんを募集**しています。

時間：朝 8 時～16 時まで（休憩 45 分～1 時間の運転の勤務です。その日によって勤務時間は変動します。）

休み：日曜日完全休み、土曜、祝日は交代で勤務（月 1 回程度）

賃金：時間給支給（待機時間、移動時間などを含みます。）

有休：あり

詳しいことなど気楽にご相談ください。（電話 0143-88-3003）

**●ヘルパー募集**

一緒に高齢者・障害者の方々を介護しませんか?登別市内在住の方がほとんどです。

詳しいことなど気楽にご連絡ください。（電話 0143-88-3003）

**編集後記**　娘が持っているファイターズユニフォームの写真が LINE で送られてきました。背番号の下に、なにやら黒い落書きがあります。全く読めないし、ただただ怪しむ私。後日談として、それは、キャンプ地で手に入れた本物のサインとのことでした。娘よ、疑ってごめんなさい。（上田優子）